

Safer Future ~ 安全な未来へ ~

運輸安全委員会ニュースレター

Japan Transport Safety Board Newsletter

■ 委員長挨拶	1
■ 運輸安全委員会発足の経緯	2
■ 事故等調査の流れ	3
■ 事故調査事例（鉄道・航空各1件）	4
■ 参事官の設置 / 事故・重大インシデント調査情報	8



明けましておめでとうございます。

皆様にはお健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、輸入冷凍餃子中毒事件などによる食の安全への不安、さらにアメリカのサブプライムローンに端を発した世界的な金融不安による日本経済の低迷が懸念されました。そのような中、人と物資の輸送など経済活動は休まずに続いており、輸送の安全確保の重要度はさらに増すものと考えております。

さて、運輸安全委員会は、航空、鉄道及び船舶の事故並びに重大インシデントの原因を科学的に究明し、公正・中立の立場から事故や重大インシデントの防止と被害の軽減に寄与するための独立した常設機関として、従来の航空・鉄道事故調査委員会と海難審判庁の原因究明部門を再編して昨年10月1日に発足しました。

航空、鉄道及び船舶の運航(行)には常に高い水準の安全性が求められており、その安全性に対する国民の期待は非常に大きいものと認識しております。

このため、事故等調査の実施にあたっては、徹底した原因究明を行い、再発防止及び被害軽減策に資するため、調査結果を報告書としてとりまとめ、国土交通大臣に提出するとともに、全文を公表しております。

また、調査結果に基づき委員会が必要と認めるときは、国土交通大臣または原因関係者に対し、事故等の防止並びに被害の軽減のために講じるべき施策または措置について勧告し、あるいは国土交通大臣または関係行政機関の長に法定意見を述べることができます。

このような委員会活動の最前線を紹介し、運輸安全の向上に少しでも役立てていただきたいとの思いから、公表した報告書の概要や分析結果の解説を掲載するなど、皆様と委員会をつなぐ定期情報紙として「運輸安全委員会ニュースレター」を創刊することといたしました。

わかりやすいニュースレターづくりに向けまして、皆様からの率直なご意見、ご要望を賜れますれば幸いに存じます。

本年1年の皆様のご多幸を心からお祈りいたします。

運輸安全委員会 委員長

後藤昇弘